

当院の消化器内科または以下の参加する施設に、
通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

進行肝臓癌に対する atezolizumab bevacizumab 治療時の効果・安全性と予測因子の検討

[研究機関名・長の氏名]北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]北海道大学病院 消化器内科 特任助教 須田 剛生

[研究の目的]

進行性原発性肝臓癌に対する atezolizumab bevacizumab の効果・安全性を明らかにする。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

原発性肝臓癌患者さんで、2020 年 10 月 1 日以降、進行性原発性肝臓癌に対する atezolizumab bevacizumab が行われ、かつ研究用の検体の保管に同意された方

○利用する検体・カルテ情報

●すでに検体を保管されている患者さん

血清 5ml

病理標本

●カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、身長、体重、BMI、飲酒歴、合併症、前治療歴、検査結果（血液検査、画像検査、尿生化学検査）、糖代謝マーカー、線維化マーカー、併用薬、併用療法

上記のカルテ情報を、データの解析のために Vita Salute San Raffaele 大学（イタリア）に、電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2033 年 6 月 30 日（登録締切日：2028 年 3 月 31 日）

○参加する施設と代表者

市立札幌病院 消化器内科	●永坂 敦、出水 孝章
市立函館病院 消化器内科	●山本 義也、鈴木和治
JCHO 札幌北辰病院 消化器科	●高木 智史、寺下 勝巳
帯広厚生病院 消化器科	●菊池 英明
JCHO 北海道病院 消化器センター	●古家 乾、馬場 英
北海道医療センター 消化器内科	●伊藤 淳
北海道消化器科病院 消化器科	●目黒 高志
愛育病院 消化器内科	●岡本 宗則、佃曜子
札幌北楡病院 消化器科	●片桐 雅樹
釧路労災病院 内科	●宮城島 拓人、川岸直樹
函館中央病院 内科 消化器内科	●紺野 潤
森町国民健康保険病院 消化器科	●熊谷 研一
NTT東日本札幌病院 消化器内科	●小野寺 学
苫小牧市立病院 消化器内科	●小林 智恵
北見赤十字病院 消化器内科	●上林 実、中村 晃久
岩見沢市立病院 消化器内科	●加藤 寛士
市立稚内病院 内科	●國枝 保幸
苫小牧日翔病院 内科 消化器科	●舘山 美樹
札幌センチュリー病院 内科 消化器科	●河上 純彦
東栄病院 内科	●常松 泉
溪和会江別病院	●品田 恵佐
開成病院	●佐賀 啓良
Vita Salute San Raffaele university (イタリア)	●Andrea Casadei Gardini

(●：参加施設における責任医師)

この研究は、当院の関連病院で肝細胞癌の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報・検体を、治療効果の解析のために北海道大学病院に郵送（検体は冷凍郵送）または電子的配信で送付します。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報・検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

研究番号：自 020-0267

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 須田 剛生

電話 011-716-1161(内線 5920) FAX 011-706-7867